



# 東明ふれあい

教育目標 「進取」 深く考え進んでやりとげる生徒  
「協調」 あたたかい心で助けあえる生徒  
「自律」 ころとからだの強い生徒

室蘭市立東明中学校  
学校便り 第2号  
令和5年5月23日  
TEL 44-1332  
FAX 44-0513

## 修学旅行での学び

校長 高橋 泰明

新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが季節性インフルエンザと同様の5類に切り替わったのが5月8日、本校修学旅行の出発日でした。コロナ対応が大きく変わったことにより、これまでの3年間では見られなかった生徒たちの姿、言い換えれば、4年前までは当たり前だった生徒たちの姿を数多く見ることができた3日間でした。

行き先はコロナ前と同様に東北方面、中尊寺の見学や盛岡での自主研修、宮古市では震災学習等を行いました。

昨年まではバスは1クラスに対して2台、1人で2座席を使用していましたが、今年は隣に級友が座っています。和やかに話しをしたり笑い声が響いたり、修学旅行らしいバス内での様子が戻ってきました。バスガイドさんは「昨年までのお子さんたちは本当にかわいそうでしたよ。話をしたくても隣に友達は座っていないし、車内では静かにするよう言われているから、こんな風ではなかったの」と語ってくれました。

宿泊先での食事もそうです。コロナ禍では、生徒はみな同じ方向を向いて席につき、向き合うことはありません。会話も極力控えさせねばなりませんでしたが、今回は違います。これまでの食事風景が帰ってきました。横や正面に座る友達と談笑しながら、その日訪れた場所のことや料理のことなど、みんな笑顔いっぱい楽しそうに話をしながら食事をとっています。

昨年までなら「もう少し静かにするように」と声掛けをしたであろう場面もありましたが、今年は、最後までゆっくりと食事の時間を楽しんでもらいました。見学地で学ぶことも大切ですが、バスや列車、旅館内での友人との触れ合い、そこにも多くの学びがあります。

さて、今回の修学旅行では、最終日に震災学習として宮古市の震災遺構、旧田老観光ホテルや防潮堤を現地の語り部さん(防災士)とともに巡りました。高さ10m、万里の長城とさえ呼ばれ、多くの人々が難攻不落と信じた震災当時の防潮堤に上りました。東日本大震災時、大津波はこの防潮堤を越え、引き波により一部が倒壊し被害が甚大なものとなりました。(2年前、この防潮堤よりも海側に高さ14.7mの巨大防潮堤が完成しています。)

1, 2階が鉄骨だけとなった旧田老観光ホテルでは当時のホテル社長が大津波を撮影した最上階の部屋に全員で入室し、社長の撮影した映像を視聴しました。津波が防潮堤を越え、まさに自分たちのいるホテルの1, 2階を通り過ぎていくまでの驚異的な速さ、そして、通り過ぎていく時の轟音…。大災害の猛威を思い知らされました。

「いつも駐車場には車の前側を駐車スペースの奥にして止めているのですが、その日は時間に余裕があったので、バックをして後ろから止めました。14時46分に大地震が発生、その後津波警報が鳴り、自分のところにも津波が迫ってきました。本当にぎりぎりのところで津波から逃れることができました。今、こうして皆さんの前で話をしていますが、あの日、いつものように車を前側から駐車していたら(バックをしたりシフトレバーを操作したりしなければならぬので逃げ遅れてしまい)私はここにいなかったかも知れません」。語り部の佐々木さんが話してくれたエピソードです。

時間に余裕を持って行動することで、思考する時間が生まれ、プラスアルファの対応や気配りが可能となります。そして、そのことが、時には自他の命を救うことにも繋がるのだと佐々木さんは教えてくれました。

まさに、学びに満ちた充実の3日間でした。

## 今月の1枚～笑顔はじける東北修学旅行～



世界遺産 平泉 中尊寺金色堂にて(1組)



景勝地 三陸海岸 浄土ヶ浜にて(2組)

新型コロナウイルス感染症の影響により東北地方への修学旅行を3年ぶりに実施しました。

1 日目は記録的な季節外れの寒気と雨に見舞われ、残念ながら狛鼻溪の舟下りは中止になりました。2 日目以降は天気も回復し、盛岡市内自主研修、宮古市田老地区において震災学習を青空の下、城下町として栄えた東北の中核都市の街並みや歴史に触れたり、東日本大震災の爪痕から防災意識を高めたりすることができました。

修学旅行をとおして、3 学年の多くの笑顔が見られたとともに、「一致団結」しながら互いに認め合い、助け合い、支えあう人間関係を育むことができました。

## 中体連大会実施日決定！！

3 学年にとって節目の大会「西胆振中体連大会・胆振中体連大会」の会場及び実施日が決定したのでお知らせします。これまでの練習の成果を発揮して1 人でも多くの方が上位の大会に進んでほしいと思います。実施日及び会場は次のとおりです。

- 陸上競技 6月10日(土) 苫小牧市緑ヶ丘陸上競技場
- バスケットボール 6月3日(土)、10日(土)、11日(日)  
伊達市総合体育館
- サッカー 6月10日(土)、11日(日)、17日(土)  
リーフラスフットボールパーク(室蘭市祝津公園サッカー場)
- ソフトテニス 6月3日(土)、4日(日)、10日(土)、17日(土)  
予備日 18日(日) 室蘭市高砂テニスコート
- バドミントン 6月11日(日) 登別市総合体育館  
17日(土)、18日(日) 伊達市総合体育館
- 卓球 6月10日(土)、11日(日) ⑦ 栗林商会アリーナ
- 剣道 6月24日(土) 苫小牧市川沿体育館

## 熊出没注意！！

J アラート、銃を持った不審者など、この2ヶ月間で生徒及び保護者の皆様におかれましては緊急対応にご協力いただきありがとうございます。

5月13日(土)の東明中学校区内に熊出没の第一報を受け、全職員で室蘭市、室蘭警察署、消防、また地域の方々の協力を得ながら登下校の時間帯に巡回を行うなど、日々警戒に当たっております。

北海道幌加内町で起こったヒグマによる痛ましい事件について、全国ニュースで大々的に取り上げられています。5月15日付けメール及び5月16日付け配付文書「クマの目撃情報対応について」においてお知らせしたとおり、次の内容をもう一度確認していただくとともに、引き続き、熊出没における対応についてご理解、ご協力をお願いします。

- ヒグマを目撃したら、ゆっくり後ずさりしながら、ヒグマとの距離をとり、静かにその場を離れる。
- 石を投げたり、大声を出して走って逃げるなどの行為は、ヒグマを刺激する可能性があるのではない。
- ヒグマは夕方、夜間、早朝に活動が活発になるので、子どもだけでの外出はなるべく控える。
- 可能な限り、複数人での登下校または保護者による送迎をお願いする。
- 暗くなってからの下校の場合は、可能な限り保護者の送迎をお願いする。
- ヒグマを目撃したり、足跡やふんを発見した際は、決して近づかず、安全な場所から室蘭市役所(0143-22-1111)や室蘭警察署(0143-46-0110)に連絡する。



令和5年度 室蘭市立東明中学校 6月行事予定						
日	曜	行事予定	SC	相	日課	給食
1	木	中体連壮行会・部活動写真撮影			6H	○
2	金			○	6H	○
3	土					
4	日					
5	月	校内会議日			5H	○
6	火		○		6H	○
7	水				6H	○
8	木	校内会議日 期末テスト範囲表配布			5H	○
9	金			○	6H	○
10	土					
11	日					
12	月	校内会議日 部活動停止			5H	○
13	火				6H	○
14	水				6H	○
15	木	1年耳鼻科検診			6H	○
16	金			○	6H	○
17	土					
18	日					
19	月	期末テスト前部活動停止(~22日)			6H	○
20	火	尿検査3次	○		6H	○
21	水				6H	○
22	木	期末テスト① 部活動停止			午前	×
23	金	期末テスト② 避難訓練		○	6H	○
24	土					
25	日					
26	月	中体連報告会			6H	○
27	火		○		6H	○
28	水	一斉委員会			6H	○
29	木				6H	○
30	金				6H	○

※ SC: スクールカウンセラー 相: 心の相談員